









想が多く見受けられた。

謝辞：本論文作成にあたり多大なる御協力を  
頂きました皆様に感謝を申し上げます。

R2.9.29

i-Construction現場説明会を開催！

～BIM/CIMを活用した施工現場で3次元モデル作成の説明会を実施～

—福知山河川国道事務所—

福知山河川国道事務所はi-Constructionサポート事務所として、ICT施工やBIM/CIMを活用して設計・施工管理を推進し事務所発注工事の受注者や京都府・沿川各市役所職員への発信・普及に取り組んでいます。今回は、BIM/CIMを活用した施工現場説明、ドローンを利用した出来形管理手法の説明会を行いました。

<p>○日 時：令和2年9月29日(火) 13:30～15:00</p> <p>○場 所：前田地区大谷川樋門築造工事 (福知山市宇前田小学サクラ1853番5)</p> <p>○参加者：事務所発注工事の受注者(27名) 京都府及び福知山市職員(7名) 事務所職員(20名) 近畿地方整備局職員(3名) マスコミ関係者(5名)</p>	 <p style="font-size: x-small;">位置図</p>
---	--



藤田副所長によるBIM/CIM導入の実施事例説明



モニターで3次元モデルの説明



ドローンのデモ飛行を披露



客手事務所職員による工事概要説明

参加者のご意見

- ・ 従来施工との違いや新しい技術の特徴を知ることができ今後工事発注の際の技術選定の参考になった。
- ・ 説明を受けた後にドローンの飛行を見ることで、先端技術がどのように現場で用いられているか理解できた。

【問い合わせ先】  
国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 工務第一課  
〒620-0875 福知山市堀2459-14 TEL 0773-22-9104(代表)

図-18 現場見学会の活動報告

## 5. まとめ

BIM/CIMを活用することで、発注者にとっても大いにメリットがあり、施工や設計、ミス等の発見に寄与することが出来る。また、受注者にとっても施工計画では、施工ヤードの移動に伴う資材の移動シュミレーションや、重機の検討、安全計画などにもその時点の現場状況を作り出すことができ、施工では、鉄筋の干渉チェックや支保工内の作業スペースの確保などの視認性が良くなり作業員に伝達するのも容易となった。現場の施工漏れやミスの判断や検討に要する時間も大幅に短縮できることがBIM/CIM活用の最大のメリットである。そのため、今後も幅広くBIM/CIMを活用して行くことが重要である。しかし、3次元モデル作成には時間とコストがかかるというデメリットもあるが、利用される機会が増えることでこの問題は解消されると考える。また、3次元モデルを扱う現場の方々がまだまだ慣れていないため、事例集などを充実させて作成したモデルを十分に利活用できるように啓蒙していく必要がある。

今後、災害や瑕疵があった場合、比較して移動や損傷の度合いを評価するため、完成した構造物などをしっかり3次元データで残していく必要がある。また、維持管理においても経年変化を把握することが今後の課題であると考えられる。